

## 【参考：開講時予定内容】

講義名	ファイナンス特殊研究A		
科目区分	特殊研究科目		
担当教員	福田 司文 / 羽森 直子		
開講期・曜日・時限	前期 水曜日 5時限	授業形態	
	2020年度 大学院 博士課程 研究生 / 2020年度 大学院(博士課程) 博士課程 / 2019年度 大学院 博士課程 研究生 / 2019年度 大学院(博士課程) 博士課程		
履修開始年次	1年生	単位数	2
		備考	

**主題と概要**

本講義は、ファイナンス研究分野における研究及び教育を遂行していくにあたり、その基礎となる知識・能力を形成することを目的とする。ファイナンス研究分野での研究・教育にあたっては、金融システムの構造や変動、企業や家計の金融行動、また、金融政策や財政政策などをミクロあるいはマクロの視点から読み解く知識・能力が求められる。本講義では、各受講者がこうした知識・能力をより高次のものとするために必要な課題を選定し、文献レビューとディスカッションを行うことを通して、各受講者が、研究・教育を遂行していくために求められる基礎力を形成することを目指していく。

**到達目標**

- ・ファイナンス研究分野における研究・教育を進めていくための基礎として、金融システムの構造や変動、企業や家計の金融行動、また、金融政策や財政政策などをミクロあるいはマクロの視点から読み解いていくための、より高次の知識が身についている。
- ・ファイナンス研究に関する諸論点の理解のもと、博士後期課程における研究を遂行していくためのより高次の能力が身についている。

**提出課題**

授業中の課題レポート

**課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック**

課題レポートの提出後、全体講評を行うとともに、個別に講評を行う。

**評価の基準**

下記の項目を中心に、総合的に評価する。

- ・授業中の課題レポート（40%）
- ・議論への参加度（30%）
- ・議論の内容（30%）

**履修にあたっての注意・助言他**

- ・本科目は「ファイナンス研究分野」の専攻科目である。
- ・履修にあたっては、「ファイナンス特殊研究A」と「ファイナンス特殊研究B」をセットで履修すること。
- ・講義の進め方や使用する文献、また、評価方法等についての具体的な説明は毎期の初回の授業を行う。その際、受講状況等に鑑み、シラバスの内容について、調整・変更を行うことがあるので、初回の授業から、しっかりと参加すること。
- ・担当教員については、上記記載の教員の内から1名が担当する。なお、受講状況により、複数クラスの開講となることがあるので、開講クラスに留意するとともに、どのクラスを履修するかについては、演習科目指導教員と相談のうえ決定すること。

<b>教科書</b>
.使用しない。

**プリント資料及び参考文献**

適宜、資料の配布と、教科書および参考文献の指示をおこなう。

**授業計画**

1. 前期ガイダンス
2. ファイナンス研究分野における主要テーマ(1)
3. 文献レビュー(1)-1
4. 文献レビュー(1)-2
5. 文献レビュー(1)-3
6. ファイナンス研究分野における主要テーマ(2)
7. 文献レビュー(2)-1
8. 文献レビュー(2)-2
9. 文献レビュー(2)-3
10. ファイナンス研究分野における主要テーマ(3)
11. 文献レビュー(3)-1
12. 文献レビュー(3)-2
13. 文献レビュー(3)-3
14. ファイナンス研究分野における研究の展望
15. まとめ

**授業形態（アクティブ・ラーニング）**

<input type="checkbox"/> ア：PBL（課題解決型学習）
<input type="checkbox"/> イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
<input type="checkbox"/> ウ：ディスカッション、ディベート
<input type="checkbox"/> エ：グループワーク
<input type="checkbox"/> オ：プレゼンテーション
<input type="checkbox"/> カ：実習、フィールドワーク

**準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間**

予習：毎回、指示された文献を事前に読み、講義に参加する。  
 復習：講義内容の復習を通して、自己の研究の進展に努める。

**双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述**

**実務経験の有無及び活用**

**備考**